

# 6月の区議会定例会で質問

## 介護、防災、スポーツ、志茂地域の課題

6月19日開会の第2回北区議会定例会で一般質問に立ち、福祉施策と介護予防の取り組み、災害対策、スポーツ、志茂地域のかかえる様々な課題について区理事者の対応をたどりました。質問要旨は次の通りです。

### 北区の財政と福祉政策について

永沼 平成26年度の福祉費の割合は54.1%で、福祉の性格上、手厚い部分は必要ですが、経費の削減は可能と考えられます。繰出金を減らすことに知恵を絞るべきです。

区長 介護と医療の連携強化やジェネリック医薬品の効果的活用を図り、医療費や介護給付金など事業費の適正化や繰出金の精査に努めます。

永沼 介護保険利用者が増加し、要支援者は約5000人います。ヘルシータウン21が改定され、ソーシャルキャピタルの重要性や栄養指導、運動などの重要性をうたっていますが、介護予防の現状はどうか。

区長 昨年度までは特定健診・後期高齢者健診と同時におたっしゅ健診を実施していましたが、2次予防事業対象者の把握が少なかったため、今年度から



要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者へ基本チェックリストを郵送し調査を進めています。

永沼 要支援からの卒業後の受け皿づくりなど具体的な目標の設定はどうか。

区長 今年度から受け皿となる2次予防事業対象のためおたっしゅ教室を拡充し、切れ目のない支援を行う仕組み作りを検討します。

### 災害時の区民の役割について



上腕骨頸部骨折：ダンボールとビニール袋で体幹をシーネ代わりに固定した。

永沼 怪我の応急措置や重症者の病院搬送など、地域の方々がその地域の人々を助けるという考えを持つべきです。また東日本大震災を教訓に、区外の人たちも押し寄せてくる可能性を考慮して、区民の積極的な対応が望まれますが、区の見解は如何ですか。

区長 現在、中学生地域防災力向上プロジェクトの実施や、地域の防災意識の結束力の向上を目指して北区防災運営協議会の設置を

推進しています。今後、北区医師会など関係機関と連携を強化して東日本大震災を教訓とした災害時における区民の行動の実現に向けて対応してまいります。

### 志茂地域の諸課題について

永沼 なでしこ小学校は北区初の複合施設となり、災害時の避難場所ではありますが、接道条件が悪く消防車等の出入が不自由です。引き続き土地の取得を求めます。

教育長 地権者のご理解を得られるよう努力します。

永沼 なでしこ小にふれあい館と地域振興室が併設されますが、地域住民の意見を取り入れ、使いやすい複合施設にすることが大切です。

教育長 地域住民にとって質的にも量的にも充実したサービスが提供できる施設に整備します。

永沼

荒川河川

敷の野球

場やサッカー

場の入口では

多くの子

供たちが

遊んでおり、

自転車との

交通事故が

発生して危険

です。再三、

荒川下流河川

事務所と協議

していますが

改善されてい

ません。また、

ベイエリアと

北区付近では

整備に差があり

一体感がない

状態です。事

故の対応や

整備も含め、

区長会で協議

し、積極的に

国に働きかけ

るべきです。

区長 荒川下

流河川事務所

では、本年3

月に施行した

「新・荒川下

流河川敷ル

ール」により、

歩行者優先、

自転車は徐

行と規定しま

す。また国と

荒川下流沿

川2市7区で

策定した荒

川将来像計



画で河川整備の方針を定めておりますが、ベイエリアを含む整備箇所と未整備箇所には大きな差があります。そのため荒川沿川区市長が参加する荒川の将来を考える協議会を通じて問題解決に積極的に国に働きかけてまいります。

### スポーツのまち北区について

永沼 東京五輪・パラリンピック大会の際は多くの外国の方が北区を訪れることが予想されます。「おもてなし」について伺います。

区長 元オリンピック選手を北区の講師に迎え、現地でのおもてなしの体験や外国の生活文化の講座を開きます。

永沼 中学校の部活動の場所は校庭が狭く試合形式の練習が出来ない状態です。区内でサッカーのできる場所は北運動場、赤羽スポーツの森公園競技場、浮間子どもスポーツ広場があり、野球は新荒川野球場があります。昼間に空いている場合は、これら中学校の部活動に開放して下さい。

区長 ご提案のスポーツ施設については、空きのある場合、平日の昼間の時間帯に中学校部活動が利用できるように利用者団体等のご意見を伺いながら検討します。